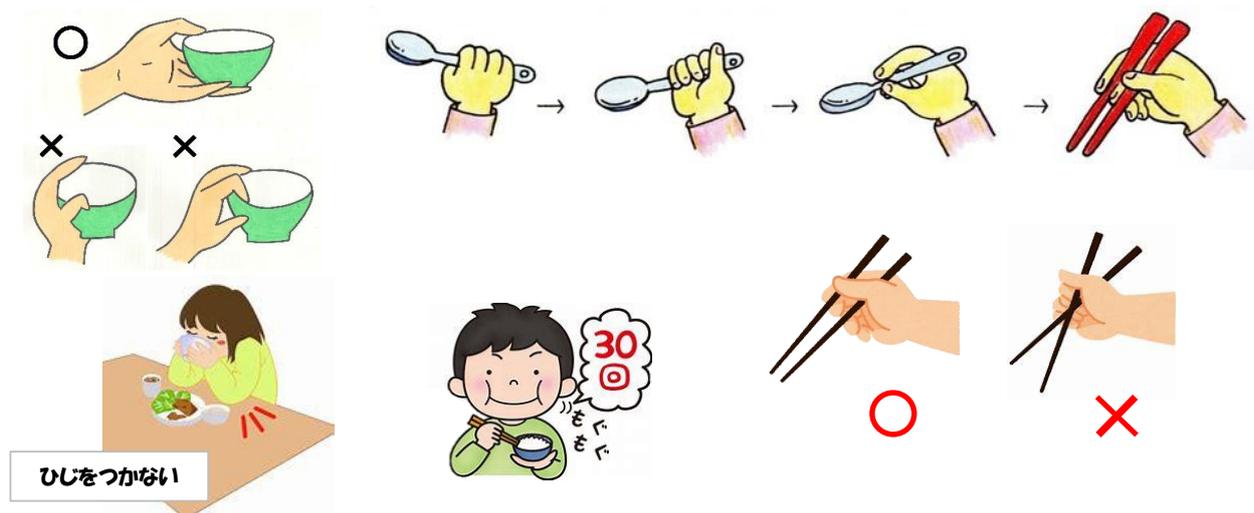




食事だより

『食事のマナー』というとなんか難しく聞こえますが、年齢に応じてできる食事の習慣です。スプーンや箸、食器の扱い方、食べ方、食事の挨拶などそれぞれの年齢に合わせたマナーがあります。「そんなこと…」と思うかもしれませんが、幼児期の食事習慣は『一生もの』といわれるほどとても大切です。子どもたちにとってマナーは見よう見まねで覚えていくことも多くあります。園では、感染予防対策で向き合ったり、隣同士で食べることはできないので、マナーを見せてあげることが難しい現状です。お家で一緒に食べる大人が良いお手本を見せてあげられるといいですよ。

また、マナーは習慣で身につくものなので、子どもと一緒に食卓を囲むことができる家庭の食事の時間がマナーを伝える最高の場となります。ご家庭でも再確認していきましょう。



「食事の時間 = 楽しい時間」にすることも大切なことです。マナーを身につけることばかり気にすると、ついつい「〇〇しなさい」「〇〇してはダメ」という声掛けが多くなりがちです。そうすると、子どもにとって食事の時間は楽しい時間ではなくなります。できていないことが目に付きやすいですが、実はできていることも多くあります。マナーを伝えつつ、できていることを褒めることも忘れないようにしたいですね。大人も子どもも美味しいごはんを楽しく食べられる時間になるように心がけたいですね。